



千一ムカ合

～学校教育目標～

「気づき 考え 進んで行動する子どもの育成」



カ合小学校だより NO.15

令和5年1月11日

児童数:533名

文責:校長 馬場康弘

明けまして おめでとうございます
今年もよろしくお祈りします



昨日、3学期が始まりました。令和5年の幕開けです。朝、正門で子どもたちとあいさつを交わしていると、中にはまだ眠そうな表情を浮かべている子もいました。しかし、教室で学級活動が始まると気持ちを切り替えて、3学期の係決めや目標設定をしていました。

3学期の登校日数は、51日(5年生は卒業式の関係で52日)です。1年間の内で最も短い学期で、あっという間に過ぎてしまいます。子どもたちには、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。始業式では以下のような話を子どもたちにしました。

3学期 - 0学期

次の学年になる準備をする学期

3学期始業式 校長講話

新しい年を迎えました。みんなで、新年のあいさつをしましょう。

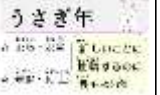
「あけましておめでとうございます。」

冬休み前に校長先生からみなさんへ宿題を2つ出していました。しっかり取り組んでくれたでしょうか。一つ目の宿題は、今回も全員立派にできました。みなさんが命を大切に過ごすごうできたことを一番うれしく思っています。本当にありがとうございます。二つ目の宿題については、この後学級でそれぞれ話し合ってもらえたらと思います。

さて、今日から3学期が始まります。3学期というのは「0学期」とも言われています。1年生から5年生にとっては、次の学年の0学期、6年生にとっては中学1年生の0学期ということです。0学期ですから、次の学年になる準備をする学期です。みなさんには、この3学期の間に今まで習った勉強を復習したり、学年が上がるという心構えや新しい目標を持ったりしてほしいと思います。目標を立てるときは、いつも言っていることですが、少し努力すれば達成できるような目標を立てるのがいいと思います。

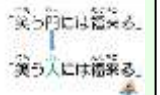
また、今年の干支は知っていますか？

そうですね。「うさぎ年」です。うさぎは穏やかで優しい性格であることから「安心・安全」を意味し、またその跳びはねる姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。新しいことに挑戦するのに最もよい年と言われています。みなさんが少しでも目標に向かって挑戦できるよう、先生



たちも全力でサポートしていきます。

もう一つお話をします。
ことわざの中に、「笑う門には福来る」ということわざがあります。このことわざは「いつも笑い声が満ち、和気藹々(あいあい)とした家には、自然と幸福が巡ってくるものである」という意味です。このことわざでは、「門(かど) = 家・家族」としていますが、これを人に置き換えると、「いつも笑っている人には自然と幸福が巡ってくる、いつも明るく朗らかであれば、知らず知らずのうちに幸せがやってくる」と考えることができます。笑いには、
・脳の働きがよくなる
・リラックスできる
・健康になる等の効果があるといわれています。ただ、それだけでなく、周囲が明るくなり人間関係もよくなります。このように笑いや笑顔には、人も自分も幸せにする力があります。私たちは、ひとりで生きていくことはできません。誰かの手を借りて、誰かに手を貸してそうやって生きています。そして、人生には楽しいことや嬉しいことばかりでなく、つらいことや悲しいことなど、いろいろなことがあります。そんな時にも、希望を失わずに朗らかに生きていれば幸せが訪れることがあります。自分の人生をよりよくするためにも笑顔でいること、よく笑うことが大切ではないかと思えます。



さあ、令和5年、新しい年の生活が始まりました。自分の目標や頑張りたいことを意識しながら、元気に明るく前向きに、そして、悲しいことやつらいことがあっても、「笑う門には福来る」を思い出して、ニコニコ笑顔を忘れずに楽しく明るい気持ちで生活していきましょう。校長先生もこの3学期、みなさんと一緒にいっぱい笑いたいと思います。